

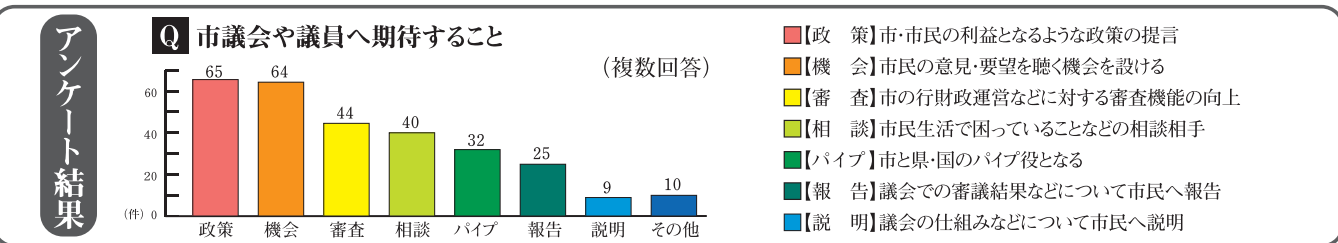
市民シンポジウムの報告

～ 福和 伸夫氏 基調講演 ～

平成29年1月14日(土)午後3時から、市消防本部において、名古屋大学減災連携研究センター長・教授の福和伸夫氏をお招きし、「南海トラフ巨大地震に備える～未来のために今はじめよう～」をテーマに市民シンポジウムを開催しました。第一部では基調講演、第二部ではパネリスト4名をお招きし、「防災・減災を通じた地域づくり」についてパネルディスカッションを行いました。当日は231名の方にご参加をいただき、熱心な意見交換が行われました。



▲会場の様子(第一部 基調講演)



小学生の議会傍聴・議場見学

市内小学校2校の児童が授業の一環で議会傍聴・議場見学に訪れました。熱心な様子で一般質問の様子を傍聴したり、メモを取りながら議場を見学していました。



議会傍聴をする冷田小学校 ▶
6年生4名(2月21日)



◀ 議場見学をする萩野小学校
5・6年生10名(2月24日)

市議会報告会開催 4月22日(土)

場 所:旭交流館 第1大会議室
時 間:午後2時～3時30分
住 所:小渡町船戸15-1
電 話:0565-68-2215
駐 車 場:旭交流館及び旭総合体育館
内 容:3月定例会報告、質疑、意見交換

市議会の予定

5月市議会臨時会は5月17日(水)開会予定です
6月市議会定例会は6月 9日(金)開会予定です

ご意見・ご感想

「市議会だより」について、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお待ちしておりますので、下記までお寄せください。

【宛先・お問い合わせ】
豊田市議会事務局
〒471-8501 豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6665
FAX.0565-34-6566
Eメール gikai@city.toyota.aichi.jp

本市議会、加茂みきお議員(63歳)が平成29年2月9日逝去されました。

加茂氏は、平成7年の初当選以来連続6期当選され、教育次世代委員長、環境モデル都市推進特別委員長、監査委員そして平成23年には副議長を歴任し、長年にわたり市政の発展にご尽力いただきました。

ここに、哀悼の意を表し、謹んでご冥福をお祈りいたします。



※この冊子は、折込み「3月市議会定例会号」です。
※このページは裏面です。本紙から抜き取ってご覧ください。

とよた市議会だより



平成29年2月8日(水)～13日(月)の6日間にわたり、A館T-FACE8階催事場サンシャインホールにて、豊田市の魅力を一挙に大集結したWE LOVE とよた「スクラムフェスタ」が開催されました。写真は、その際のとよたPR大使と「第6回おいでんぐランプリ受賞者」として、地産地消をテーマに考案したスイーツで会場を盛りあげてくれた県立加茂丘高等学校のみなさんです。

本定例会では、議案第1号において、「WE LOVE とよた」条例を決定しました。(詳細:4ページ議案説明)

火災予防条例の一部改正条例(議案第16号)

消防法令に違反する防火対象物は公表されるようになります... 防火安全に対する意識を高め、火災による被害の軽減に努めます。

平成29年度一般会計予算(議案第32号)

第8次総合計画スタートの年の当初予算、厳しい財政状況1,783億円... 前年度比76億円の減。(詳細:4ページ議案説明)

- トップインフォメーション 特別委員会の調査研究結果 2
- 議案説明・討論 条例の一部改正・工事請負契約の締結など 4
- 常任委員会 付託案件を審査 6
- 議案審議結果 8

市政を問う!

- 代表質問 各会派の代表が市長に質問 10
- 一般質問 16人の議員が質問 12
- トピックス
- 市議会市民意識調査 15
- 市民シンポジウムの報告
- 小学生の議場見学 市議会報告会の開催 など 16

定例
会号
3月市議会
平成29年4月15日

豊田をもっとよいまちへ!
2つの特別委員会から市長へ
提言書を提出しました!

提言 1 豊田スタジアムを生かして
もっと魅力あるまちづくりに取り組もう!

豊田スタジアムを生かしたまちづくり特別委員会

調査研究事項

- 1 国際都市 豊田市としての顔づくり
世界中、日本中から豊田スタジアムを訪れる観客の移動手段や、市内観光施設等の活用及び、駅周辺施設や歩道の緑陰・休憩施設など、駅周辺から豊田スタジアムへの動線に対する空間のあり方について。
- 2 来訪者を迎えるためのおもてなし
市内を訪れる多くの人たちを地域の活性化に結び付けるため、市民意識の高揚をはかり、各種市民団体等と連携し、多くの市民を巻き込んだ来訪者へのおもてなしについて。

具体的な提言内容 ※ファンゾーン…試合会場付近に設けられた入場無料の観戦スペース等

- 1 国際都市 豊田市としての顔づくり
 - (1) ファンゾーン*における豊田らしさを生かした取組
市の強みであるものづくりや観光資源を活用した内容としていく必要がある。
 - (2) 中心市街地エリアの整備促進
市の顔づくりである都心環境計画の事業加速化と、来訪者視点で公衆無線LANなどの環境整備が必要である。
 - (3) 中央公園(豊田スタジアム) まで楽しく歩けるルートの整備
豊田市駅からスタジアムまでを特別なルートとして整備を進め、大会気運を盛り上げていく必要がある。
- 2 来訪者を迎えるためのおもてなし
 - (1) 官民連携での取組体制の構築
全市を挙げて大会成功に向けた取組を進めるための体制を構築する必要がある。
 - (2) 市内の観光資源の有効活用
観光協会を中心に、地域資源の有効活用を進め、トヨタブランドを活用した全世界へのシティプロモーションを行う必要がある。



▲ファンゾーン(2015年イギリス大会)

行政視察

ラグビーW杯の国内開催都市等を視察

- 実施期間:平成28年4月20日(水)～22日(金)
- ・埼玉県熊谷市/ラグビーワールドカップに向けたおもてなしのまちづくり
 - ・岩手県釜石市/スタジアム整備に向けた取組
 - ・岩手県花巻市/北東北の玄関としての観光の取組



◀釜石市視察の様子

過去にラグビーW杯を開催した国、自治体を視察

- 実施期間:平成28年9月28日(水)～10月7日(金)
- ・オーストラリア:ニューサウスウェールズ州政府/国際的大規模イベントでの行政対応等
 - ・ニュージーランド:ATEED/ラグビーワールドカップ開催に伴う経済効果、海外向けアピール手段等
- ハミルトン市役所/国際イベント開催時の来訪者対応等



ハミルトン市視察の様子▶



▲市長へ提言書を提出

市議会では、議案や予算決算を審査している常任委員会とは別に、市の重要な課題の検証や議会の活性化に向けた取組を専門的に調査・研究する特別委員会という組織を設置しています。
今回は、特別委員会が1年間ないし2年間にわたり、調査・研究してきた内容及び提言を報告します。

提言 2 これまでの議会活性化の取組を検証し
さらなる議会権能の向上を目指します!

議会力向上特別委員会

調査研究事項

- 1 議会基本条例の検証
 - (1) 議会運営(議会人事(任期)、監査委員のあり方)
 - (2) 委員会運営(所管事務調査、予算決算審査、委員外議員(委員)制度)
 - (3) 市民の議会活動への参画の確保(議会報告会、市民シンポジウムの実施)
 - (4) 広報広聴機能の充実(情報発信媒体、内容の検討)
 - (5) 事務局機能の強化(議会事務局の人事権)

具体的な提言内容 (一部抜粋)

- 1 議会運営 <監査委員のあり方>
議会選出監査委員は監査委員として決算審査を行っており、議会の決算審査に加わらないことが望ましい。
- 2 委員会運営 <予算決算審査>
予算委員会(議長を除く全議員)と決算委員会(議長と監査委員を除く全議員)に分け、審査方法は現行通りとするが、決算審査のあり方については継続して検討する必要がある。
- 3 市民の議会活動への参画の確保 <議会報告会、市民シンポジウムの実施>
常任委員会で調査テーマを決め、市民意見の聴取を関係団体への議会報告会兼意見交換会として常任委員会ごとに実施する。そのうち一つは市民シンポジウムとして実施し、有識者による基調講演や関係団体とのパネルディスカッション等を通じて、一般参加者も含め意見交換を行う。
- 4 広報広聴機能の充実 <情報発信媒体、内容の検討>
議案の要旨や会派別賛否の掲載など市議会ホームページの充実を図る。

行政視察

議会活動の情報発信や議会役職任期の考え方を視察

- 実施期間:平成28年10月25日(火)～27日(木)
- ・北海道函館市/市民からの意見聴取、議会活動の情報発信、議会役職任期の考え方
 - ・福島県福島市/議会基本条例の検証、市民との意見交換会、決算審査の方法、議会役職任期の考え方
 - ・千葉県船橋市/決算審査の方法、委員外議員制度の運用、議会活動の情報発信、議会役職任期の考え方



▲船橋市視察の様子

詳細な特別委員会の調査研究結果については、こちらからご覧ください。



<http://toyota-shigikai.jp/specialreport.html>

条例の制定・一部改正、平成29年度一般会計予算など56議案を議決

地元とよたを愛するのは、私たち市民から!

【議案第1号】「WE LOVE とよた」条例

豊田市が好き!という地元を愛する思いが、今後到来する超高齢社会や人口減少社会に対応して、持続可能なまちづくりを実現していく上で重要となってきます。そのような中で豊田市に関わる全ての人々と共に「WE LOVE とよた」の取組を推進するための基本的な考え方を条例として制定しました。条例は、自らの意思で行動し、とよたの魅力を自由に楽しみ、その魅力を伝え、そして互いに協力しながらもっと楽しくなるようにしていこう!という内容です。今後、行動計画を作成し、「WE LOVE とよた」の取組の具体化を図っていきます。



▲「WE LOVE とよた」スクラムフェスタ

市税収入は前年度比190億円の大減、より効果的な予算配分を!

【議案第32号】平成29年度一般会計予算

法人市民税の見込みについて、為替変動の影響などによる企業収益の減収が大きく、市税収入は978億円で対前年度比190億円の大減となり、当初予算全体としては前年度1,859億円に対し、平成29年度は76億円減の1,783億円となりました。市としては、市税収入が大幅な減となりましたが、急激な予算規模の縮小は避けるため、これまでに備えてきた基金等を活用し、施策を着実に推進します。また、今後の財政見通しとしては、国の税制改正等により市の歳入は減っていくことが見込まれるため、平成29年度から全庁を挙げた事業事務の最適化に向け取り組んでいきます。



▲当初予算の詳しい情報はこちらからご覧ください。

豊田スタジアム周辺の中央公園園路をきれいにします

【議案第46号】工事請負契約の締結(中央公園園路舗装改修工事)

中央公園利用者の安全の確保及び利便性の向上を図るため、老朽化した園路を改修します。(契約金額3億3,642万円)



豊田スタジアム▶

予算決算 委員会

2月24日から3月15日にかけて委員会及び分科会が開催され、付託された平成28年度補正予算14議案、平成29年度当初予算13議案を審査し、すべての議案を承認しました。

●平成28年度一般会計補正予算 歳入

質問 平成28年度の美術館企画展の収入による大幅な歳入補正であるが、その内容と事業評価はどのようなか。

答弁 デトロイト美術館展やジブリの立体建造物展などの観覧料収入や物販の売上が当初の見込みを大きく上回ったため、実行委員会における割戻金が増加したことによる歳入補正である。事業評価について、成果は豊田市美術館の存在を市内外に周知・PRできたこと、中心市街地の活性化に寄与できたこと、来館者に美術館だけでなく豊田市の魅力や各種情報を発信できたことである。一方課題として、施設の収容能力を超えた場合の混雑対策や駐車場、鉄道駅から美術館までの交通手段の確保が必要であることなどが改めて明らかになった。このため、再度、ジブリの立体建造物展レベルの大規模な事業の実施は難しく、当面はデトロイト美術館展と同程度の集客が見込まれる展覧会が施設に適した規模と考えている。

●平成29年度一般会計予算 老人福祉総務費

質問 平成28年度に比べ介護人材確保事業費が大幅に増額されているが、どのような取組をするか。

答弁 主なものとして、海外からのEPA介護福祉士候補者への日本語学習支援講座の開催を行う。その他には介護事業所と共働して、新規人材確保策として就職フェア、離職した有資格者の復帰促進としてヘルパーフォローアップ講座を拡充していくとともに、定着支援としては、福祉新人職員研修などを開催する。

都心整備費

質問 北地区市街地再開発事業の進捗状況は、どのようなか。

答弁 現在、建物の建設工事を進めており、平成28年度末には、西棟の躯体工事の完了、中央棟は4階、東棟は24階までの躯体工事の完了を見込んでいる。また、躯体工事が完了した箇所から順次、内装や設備の工事も進めており、おおむね順調に進捗している。

●平成29年度一般会計予算 社会体育費

質問 ラグビーワールドカップ2019開催に向けて見せる化の展開をしていくとのことだが、その具体的な取組内容はどのようなか。

答弁 平成29年秋ごろには試合日程の発表が予定されており、大会開催に向け大きな動きがある中で、これまでのPR活動に加え、例えば、市役所、各支所、豊田市駅前など市内全域での横断幕等の掲出や中心市街地の都市の装飾などを行っていく。また、4月3日に交付が開始されるラグビーワールドカップ特別仕様ナンバープレートの公用車への展開なども行っていく予定である。PRを行う場所、機会、期間をこれまで以上に増やし、大会機運醸成に向けさらなる見せる化に取り組んでいく。

世界一熱いラグビーを届けよう。



討論

3月市議会定例会最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各会派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。※発言順に記載 (議案は8・9ページ参照)

大村義則 諸派 従来型の予算編成を見直し、市民の福祉にこそ重点を置くべきであり、反対

議案第18号: 反対。本補正予算は、昨年の3月定例会で平成28年度当初予算において指摘した、市民への負担増や大企業に偏った支出を始めとした予算執行の中身を年度末で調整するための補正であるため、反対。
議案第32号: 反対。法人市民税前年度比200億円余の減を計上したなかでも、財政力指数1以上の歳入が見通せるならば、市民の暮らし、福祉にこそ重点を置いた予算組みが重要で、従来型の大型開発や大企業に偏った予算編成を改めるべきであり、反対。

山口光岳 自民クラブ 誰もがわくわく世界一楽しいふるさととなることを期待し、賛成

議案第1号: 賛成。平成29年度は第8次総合計画の開始やその後のラグビーワールドカップ2019の開催など魅力ある新たなまちづくりに取り組む好期である。今後、持続可能なまちを実現するため、行政と市民が一体で条例の実効性を保つ行動計画に期待し、賛成。
議案第32号: 賛成。経済情勢の変動により前年度比76億円減の1,783億円の厳しい財政状況のなかでも、基金積立や元金償還額とのバランスを考慮した市債等で健全財政を維持しながら、市民生活に直結した事業実施が計画されており評価できるため、賛成。

岡田耕一 諸派 基金積立やバリアフリー化など有効な補正予算であり、賛成

議案第18号: 賛成。歳入に関して、財政調整基金等に積立てており、今後の財政変動を考慮し妥当である。歳出については、高齢者福祉施設防犯施設整備事業や小学校のバリアフリー化整備事業など市民生活に直結した有効な補正予算であると評価し、賛成。
議案第51号: 賛成。足助消防署用地について、年間借地料120万円余が今後不要となることと同時に、恒久的な土地及び庁舎の利用が担保され、敷地の有効活用が可能になる。安定した施設運用が期待できるため、賛成。

山野辺秋夫 市民フォーラム 観光の産業化を推進する原動力 ツーリズムとよたに期待し、賛成

議案第3号: 賛成。地域が稼げる環境づくりをミッションに一般社団法人化したツーリズムとよたは、観光の産業化を推進する原動力となり、近い将来、本市が県内で一番の観光地へと成長していくことに期待し、賛成。
議案第32号: 賛成。法人市民税の大幅な減収などによる厳しい予算のなかでも、積極的な企業誘致活動や宅地開発、観光の産業化など歳入確保に繋げていくため、第8次総合計画の実践計画事業を着実に推進し、持続可能な行財政運営を推進していくことに期待し、賛成。

大石智里 公明党 「WE LOVE とよた」の取り組みへの多くの市民の参画を期待し、賛成

議案第1号: 賛成。全市的な取り組みと共に、市内各地域のWE LOVEにより「WE LOVE とよた」がますます盛り上がり、豊田市に関わる全ての人々と共に、一層幸せに、そして持続可能なまちとなることを期待し、賛成。
議案第56号: 賛成。標識の設置と住民説明の事前実施の義務化、開発事業者に対し法令に基づく許可手続きとは別に市の承認手続きの義務付けなどにより適切な開発事業の確保が図られ、良好な住環境の保全と安全で快適なまちづくりにつながることを評価し、賛成。

2月23日の本会議で委員会に付託された案件の審査を、予算決算委員会を含む6つの常任委員会でを行いました。委員会の審査内容について、主な質問と答弁を要約して紹介します。

委員会

産業建設
委員会

3月7日、付託された7議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第14号】地域広場条例の一部改正条例

質問 ふれあい広場等5か所を廃止した理由はどのようなか。

答弁 自治区からの要望で、利用者が減少し管理が困難になったという理由により廃止となった広場が2か所。地権者の都合により廃止となった広場が2か所。残りの1か所は、新たな広場の設置により廃止となった。



新設されるちびっこ広場

【第56号】開発事業に係る手続等に関する条例

質問 条例施行の際に、すでに着手している開発事業や協議中の開発事業の取扱いはどのようなか。

答弁 条例施行の際の開発事業の取扱いは、条例末尾に経過措置として定めている。すでに着手しているか、着手はしていないが法令に基づく許可等の申請がなされている開発事業については、この条例の対象とはならない。また、現行の指導要綱に基づきすでに協議中の開発事業についても、原則としてこの条例の対象とはならない。しかし、条例施行時点で、協議の申し出の日から1年を経過してもなお協議が完了していない時や、法令に基づく許可等が必要な事業で、協議完了の日から1年以上許可等の申請がなされていないものは、この条例の対象となる。

環境福祉
委員会

3月8日、付託された1議案を審査し、全会一致で承認しました。

【第13号】医療費助成条例の一部改正条例

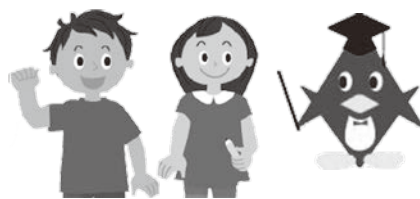
質問 医療助成種別の変更を求めることについて、対象者に対し、どのように理解を促しているか。

答弁 対象者には、申請書及び返信用封筒と申請案内を送付する。その文書において、改正の趣旨や改正がない場合でも、こども医療が終了する中学校卒業時においては、医療助成種別の変更が必要になることなどを丁寧に説明していくことで理解を得ていく。

また、受給者証に心身障がい者や母子父子家庭という文言が表記されていることに抵抗感のある方もみえるため、今回の改正にあわせ、それらの文言を受給者証から削除する方向で見直しを予定している。

質問 受給者証の変更を忘れた方など変更が遅れている方への対応はどうか。

答弁 該当者は申請状況から把握できるため、郵便や電話などにより再勧奨を行い、変更を促していく。



教育次世代
委員会

3月9日、付託された5議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第11号】体育施設条例の一部改正条例

質問 四郷駅周辺土地区画整理事業により、四郷マレットゴルフ場を廃止し、豊田市運動公園内に新しく整備すると理解しているが、移設による影響はどのようなか。

答弁 四郷マレットゴルフ場は、供用開始から25年余りが経ち、利用者数の増加に伴うコース数や駐車台数の不足が課題となってきた。豊田市運動公園への移設により、18ホールから36ホールとコースが拡大し、駐車台数も増えるほか、大きな大会が開催でき、利便性が向上する。

【第46号】工事請負契約の締結(中央公園園路舗装改修工事)

質問 大規模な工事になると思われるが、工事期間中に豊田スタジアムで予定されている主な大会やイベント及び、安全確保に向けた対策や影響はどのようなか。

答弁 平成29年度、豊田スタジアムで開催される主な大会やイベントは、Jリーグ、ラグビートップリーグ、産業フェスタ等である。これらイベントの主催者や施設管理者と調整・相談を行い、危険箇所には立ち入り禁止フェンスを設置し、万全な安全対策を行う。また、工事にかかる影響については、関係者との綿密な打合せを行い、分割した工事を施行していくため、イベント開催の日数、来場者数に影響はない。

生活社会
委員会

3月10日、付託された4議案を審査し、議案のすべてを全会一致で承認しました。

【第12号】コミュニティセンター条例の一部改正条例

質問 新たに設置される福祉の相談窓口における相談者のプライバシーはどのように守るのか。

答弁 福祉の相談窓口においては、軽微なものから深刻なものまで幅広い相談や、支え合いの地域づくりに係る相談を受け付けるため、状況に応じて、軽微なものや地域づくりの相談などは、カウンターで受け付け、他人に知られたくない深刻な内容の相談などは、相談窓口を設置する個室の相談室で対応することで、プライバシーの保護に努める。気軽に相談でき、また深刻なものも安心して相談できる環境を整えていく。

【第16号】火災予防条例の一部改正条例

質問 違反対象物の公表までの流れ及び公表後に違反が是正された場合の公表取消までの流れはどのようなか。

答弁 公表までの流れについては、最初に防火対象物の立入検査を実施し、公表対象の違反を確認する。次に関係者に対し立入検査の結果と公表する旨を通知し、その後14日を経過しても違反が是正されない場合には、現地などで違反状況を再確認した後に市のホームページで公表していく。また、公表取消までの流れは、関係者からは是正の報告を受け、現地で是正状況を確認した後、速やかに市のホームページで公表している内容を削除する。

企画総務
委員会

3月13日、付託された12議案を審査し、議案のすべてを承認しました。

【第1号】「WE LOVE とよた」条例

質問 取組を推進していくために、行動計画でどのように「WE LOVE とよた」を発信していくか。

答弁 外国人から見たとよたをキーワードにCOOLとよたを発見し、発信することを重点事業として位置付け、例えば、まちさとミライ塾の外国人が参加できるプログラムなどを活用し、外国人から見たとよたの魅力や面白さの発掘と市民の気づきにつなげる機会づくりを行っていきたい。また、参加者の協力も仰ぎながらSNSを活用した発信を行いたいと考えている。その他としては、豊田市を舞台とした市民参加による映画制作等を活用した取組も進めていく。

質問 「WE LOVE とよた」への理解と共感の輪をどのように広げていくか。

答弁 スタジアムでつながるをキーワードにスタジアムをもっと生かそうということを重点事業として位置付け、ラグビーワールドカップの開催機運の醸成、サッカーJリーグのホームタウン活動の強化などにより全市的に盛り上げていく取組を展開するとともに、地域や市民に一層密着した取組として、わくわく事業や市民活動センターの交流事業などを活用しながら、市民の理解と共感の輪を広げていきたい。(写真有)



WE LOVE とよた ロゴマーク

【第55号】市職員定数条例の一部改正条例

質問 組織改編によるものを除き、市長部局の増員について、待機児童対策のための保育師増員が多数を占めているとのことだが、保育師の職員数の現状と今後の適正定員はどのようなか。

答弁 平成29年度は、平成28年度と比較し、待機児童対策のために保育師を16名増員する予定で、平成29年4月時点では、任期付正規職員を含めて、779名の体制を予定しているが、引き続き、乳児受入枠の拡大や職員体制の改善を図るため、保育師の増員が必要であると考えている。今後も平成27年3月に策定した定員適正化計画の方針に基づき、公立こども園の民間移管の状況を踏まえつつ、保育師の段階的な増員を図っていく。

質問 消防部局の職員は5名の増員とのことだが、今後も現場力の強化が必要だと認識している。今後どのように拡充を図っていくか。

答弁 消防職員についても、現場力の強化を図るとともに、火災予防に向けた取組を推進するため、職員の年齢構成に留意しながら段階的に増員していくことが必要だと考えている。平成29年4月時点では、消防職員の実人員は503名を予定しているが、平成27年3月に策定した定員適正化計画では、平成32年4月時点で530名まで拡充していく予定である。



条例原案の検討会の模様



※議案名など一部省略して記載しています

議案審議結果

3月市議会定例会に提出された案件

◆議案

採決結果	議案	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
			自民クラブ 26名(1名欠席)		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
原案可決	第1号 「WE LOVE とよた」 条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	2 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	1	2
//	3 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	4 市職員の育児休業等に関する条例及び遺児手当支給条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	5 市職員の配偶者同行休業に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	6 市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	0	3
//	7 市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	8 財政状況公表条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	9 基金条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	10 手数料条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	11 体育施設条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	12 コミュニティセンター条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	13 医療費助成条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	14 地域広場条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	15 工場立地法に基づく緑地面積率等に係る準則を定める条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	16 火災予防条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	17 市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	1	2
//	18 平成28年度一般会計補正予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	19 // 国民健康保険特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	20 // 都市計画事業土地地区画整理特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	21 // 分譲住宅建設事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	22 // 卸売市場特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	23 // 水道水源保全事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	24 // 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	25 // 介護保険事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	26 // 財産区特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	27 // 簡易水道事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	28 // 後期高齢者医療特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	29 // 産業用地造成事業特別会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	30 // 水道事業会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	31 // 下水道事業会計補正予算		25	0	10	0	4	0	3	0

3月市議会定例会に提出された案件

◆議案

採決結果	議案	採決結果	会派別賛否 ※自民クラブは議長を除く							
			自民クラブ 26名(1名欠席)		市民フォーラム 10名		公明党 4名		諸派 3名	
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対
原案可決	第32号 平成29年度一般会計予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	33 // 国民健康保険特別会計予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	34 // 都市計画事業土地地区画整理特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	35 // 分譲住宅建設事業特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	36 // 卸売市場特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	37 // 水道水源保全事業特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	38 // 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	39 // 介護保険事業特別会計予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	40 // 財産区特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	41 // 後期高齢者医療特別会計予算		25	0	10	0	4	0	1	2
//	42 // 産業用地造成事業特別会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	43 // 水道事業会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	44 // 下水道事業会計予算		25	0	10	0	4	0	3	0
//	45 工事請負契約の締結(一級河川安永川開水路整備工事(長興寺工区))		25	0	10	0	4	0	3	0
//	46 // (中央公園園路舗装改修工事)		25	0	10	0	4	0	3	0
//	47 // (市立加納小学校施設保全改修工事)		25	0	10	0	4	0	3	0
//	48 // (市立猿投台中学校施設保全改修工事)		25	0	10	0	4	0	3	0
//	49 工事請負契約の変更(一級河川安永川開水路整備工事(高橋細谷線関連))		25	0	10	0	4	0	3	0
//	50 // (枝下用水10号放水路移設工事(高橋細谷線関連))		25	0	10	0	4	0	3	0
//	51 財産の取得(足助消防署用地(桑田和町地内))		25	0	10	0	4	0	3	0
//	52 // (市立猿投中学校サブグラウンド用地(加納町地内))		25	0	10	0	4	0	3	0
//	53 包括外部監査契約の締結		25	0	10	0	4	0	3	0
//	54 市道の認定(143路線 26,671.3m)		25	0	10	0	4	0	3	0
//	55 市職員定数条例の一部改正条例		25	0	10	0	4	0	3	0
//	56 市開発事業に係る手続等に関する条例		25	0	10	0	4	0	3	0

◆報告

第1号	専決処分の報告(損害賠償額の決定7件、工事請負契約の変更2件)									
2	専決処分の報告(損害賠償額の決定2件)									

◆議員提出議案

第1号	市議会の議決すべき事件に関する条例の一部改正条例	原案可決	25	0	10	0	4	0	3	0
2	市議会委員会条例の一部改正条例	//	25	0	10	0	4	0	3	0

自民クラブ・市民フォーラム・公明党の 各会派が太田市長に問う!

自民クラブ

神谷 和利



質問 ラグビーワールドカップ2019開催に向けて

大会成功に向け大幅な組織体制の強化が必要と考えるが、市の推進体制整備の考えを問う。

答弁 市長

国際まちづくり推進課から事業・事務を分離し、専門部署のラグビーワールドカップ2019推進課を設置し、業務に応じた体制強化を行う。ラグビーワールドカップを契機とする国際まちづくり推進のため、各部署の取組の集約と総合調整を強化する。民間団体等との連携もさらに強化するため「ラグビーワールドカップ2019愛知・豊田開催支援委員会」に加え、「ラグビーワールドカップ2019豊田市開催準備会議」を設置した。関係者団体と共に気運醸成と準備を進める。(写真有)

質問 東京オリンピック・パラリンピックを捉えた取組

豊田市ゆかりのアスリート等を応援し「WE LOVE とよた」につなげたい。スポーツを楽しむ風土の醸成の考えを問う。

答弁 市長

2018年から2022年までの5年間にわたり、ラグビーワールドカップ、オリンピック・パラリンピックなどの国際的なスポーツイベントが日本や近隣国で多数開催される。この機会に、市民のスポーツへの関心が高められるよう、市内の企業・大学や市民の一流アスリートとの触れ合い事業などに取り組み、更なる風土の醸成に努める。

質問 山村地域の振興策

設立から3年半経過した、山村地域の移住促進を担う「おいでん・さんそんセンター」のさらなる充実を問う。

答弁 市長

おいでん・さんそんセンターは、3年半で100件を超える都市と山村の交流をコーディネートし、市内外で認知されてきた。平成28年度は機能追加した「いなか暮らし総合窓口」により、移住コーディネートに取り組んできた。今後、都市と山村の交流やいなか暮らしコーディネートを市民や団体等の活動からも展開し、持続的、機動的な体制にするため、一般社団法人を設立し、企業が農業を取り入れた研修を地域と共に行う事業等を法人の自主事業として充実する。

質問 地域ぐるみの教育の推進

地域教育懇談会という制度がある中、「豊田市版コミュニティスクール」を市内各地区へ導入・推進するねらいを問う。

答弁 市長

これまで地域の子どもたちの健全育成を積極的に支援することを目的とする地域教育懇談会を開催し、一定の成果をおさめたと思うが、学校により差もあった。子どもたちは将来の地域の担い手となるため、郷土愛の心を育て、子ども同士や子どもと大人が関わり合う継続的な取組が必要と考える。学校と住民が「育てたい子どもの姿」を共有し、活動を進めることをねらいとし、それぞれの地域のよさを取り入れ、全市への展開を目指したい。



▲ラグビーワールドカップ開催1000日前イベント

市民フォーラム

作元 志津夫



質問 第8次総合計画の着実な実現に向けて

今後の施策展開において大変重要である、AI、IoTの進化等による社会の変化とスピードをどのように捉えるかを問う。

答弁 市長

今後の社会の変化やスピードは、これまでとは大きく異なり、劇的に転換していくものと捉えている。第8次総合計画を進める上では、将来を見据えて地道にまちづくりに取り組む一方で、社会の変化を的確かつ敏感に捉え、施策の展開に反映させることが重要である。「ミライ・チャレンジ都市」として、今後の社会の変化を先取りし、市民や企業、大学等が、豊かな発想や近未来の技術を生かした事業にチャレンジできるまちを目指していく。

質問 産業の強靱化

新産業の創出と人材育成強化が求められている中、次世代産業に向けた中小企業支援の取組を問う。

答弁 市長

中小企業の総合支援拠点として平成29年秋に開設する(仮称)ものづくり創造拠点において、とよたイノベーションセンターを中心に、中小企業が新たな事業展開を踏み出すための支援を強化する。基礎的な製造技術者の教育から新たな事業を創出する人材まで、幅広いものづくり人材の育成事業を推進していく。地域の金融機関や大学等との連携を強化し、中小企業を総合的に支援する体制の充実を図り、中小企業が次世代産業に繋がる支援を進める。(写真有)

質問 教育大綱と第3次教育行政計画の策定

第8次総合計画の推進において欠かせない「学び合い」の視点を(仮称)第3次教育行政計画にどのように反映していくのか考えを問う。

答弁 市長

教育行政は、社会の形成者を育成することが使命のひとつとされるなど、市民の「学び合い」を下支えするものであることから、このことを十分念頭に置きながら、次期教育行政計画を策定する。今後、教育行政計画審議会の審議を踏まえて、多様な市民一人ひとりが自ら学び、地域と共に育ち合う教育の実現に向けて、本市として取り組むべき事業の立案を目指す。

質問 地域活性化による財政向上策

一過性ではなく、観光の産業化による地域所得の向上に結びつける仕組みが重要と考えるが、市の強みを活かした「稼ぐ力」の育成を問う。

答弁 市長

農林業、観光業を始めとする地域の事業者が、地域資源を活用した事業を展開することで、「地域の経済循環」を拡大させることは重要と認識しており、地域の活性化と税収増にもつながると考える。第8次総合計画では、重点施策である産業の強靱化において、本市の強みや地域資源を生かし、地域内の人、もの、カネの流れを増大させる方向性を掲げ、観光の産業化を推進するための支援など地域の経済循環の拡大を意識した取組を推進していく。



▲ものづくりミライ塾

公明党

小島 政直



質問 超高齢社会への適応

多世代同居や近居は介護予防や健康寿命の延伸、待機児童解消に効果的と考えるが、多世代同居・近居の推進について考えを問う。

答弁 市長

今後の超高齢社会の更なる進展等に備えて、多世代が共生するまちを目指す上で、多世代同居・近居はその実現に向けた環境づくりの一つであると考え。そのため重点施策である超高齢社会への適応について、多世代同居・近居を促進する取組を位置づけており、平成29年度は提案いただいた内容も含めて同居・近居を含む市民のライフスタイルや暮らし方の志向に合わせたより効果的な支援策について調査・研究を行う。

質問 男女共同参画社会～女性が輝くまちづくりの推進

男性中心型労働慣行を見直し女性の活躍を推進するため、民間事業者へどのように啓発を行うのか考えを問う。

答弁 市長

男性・女性を問わず、自分らしく生きたいと願うのは当然のことであり、とりわけ女性目線で捉えると男性の働き方改革は非常に重要な課題と認識している。このため、民間事業者の経営層に向けての啓発セミナーや優良事業所表彰に加え、新たに働き方改革アドバイザーを養成するとともに企業へ派遣し、多様な人材が活躍できる就労環境を作っていくよう啓発していく。加えて、女性の多様な社会参加も応援していきたいと考えている。(写真有)

質問 インクルーシブ教育システムの構築

インクルーシブ教育のためには特別支援教育の推進が必要と考えるが、どのように特別支援教育を進めるか考えを問う。

答弁 市長

市では、これまでにも、教育分野だけでなく、こども発達センターなどの医療機関や福祉関係機関等が連携して、特別な支援の必要な子どもに対して年齢や発達に応じた支援を行ってきた。今後も子どもや保護者がさらに安心して学校生活を送れるよう、各学校の校内支援体制と、地域ごとに近隣の小中学校が支え合うブロックサポート体制を整え、個別のニーズにこたえることができる特別支援教育を推進していく。

質問 平成29年度当初予算の基本方針と財政運営

社会保障関係費が増加しているが、財政運営上の工夫と行財政改革・健全財政に向けての今後の取組について考えを問う。

答弁 市長

扶助費の増加や法人市民税の一部国税化等により財政構造は変化し、健全財政を維持するため、財務体質を強化する必要がある。平成29年度当初予算では、厳しい財政状況への意識付けを徹底し、歳入確保の取組、事業・事務の効率化などによる歳出削減により財務体質の強化を図ってきた。今後、予算規模の段階的な適正化に向け、事業の効率化、選択と集中の徹底を図るとともに、歳入歳出面において民間の力の活用等の取組を進めるなど行財政改革を図る。



▲中小企業向け人材確保支援セミナー

市政を問う!

2月21日から23日にかけて、16人の議員が市政の方針や考え方などについて問う「一般質問」を行いました。その質問と答弁の一部を要約して掲載します。

※質問順に掲載しています。
※正式な会派名/自民クラブ：豊田市議会自民クラブ議員団
市民フォーラム：豊田市議会市民フォーラム
公明党：公明党豊田市議団 諸派：会派所属無

議員氏名 会派名

一般質問

松井正衛

自民クラブ



- 高齢者医療費の削減に向けた保健事業
○豊田市の健康寿命の延伸に向けた取組

質問 豊田市国保における保健事業の取組

呉モデルとして評価され特別調整交付金が支給される先進事例もあるが、市の糖尿病の重症化予防対策について問う。

答弁 健康部

糖尿病性腎症重症化予防の取組に基づき2つの取組を実施している。1つ目は、特定健診でヘモグロビンA1cの数値が特に高い人の医療機関受診状況を確し、未受診者には受診勧奨を行っている。特定保健指導対象者には教室への参加を促し、勧奨3ヵ月後に未受診であった場合は再度の勧奨を行っている。2つ目は、腎機能が著しく低下している人に透析への移行防止のための指導を行っており、専門医が必要と判断した人には、6ヶ月間の指導を実施している。

中村孝浩

市民フォーラム



- 豊田市の健康づくりの推進

質問 今後の健康づくり計画に向けた取組と庁内連携

健康づくりの取組における生涯活躍部の役割と今後も重要になってくる関連部署との更なる連携について問う。

答弁 総務部

市民が社会と関わりを持ち、楽しく生きがいを感じて暮らすことは健康づくりにとって大切と考えている。生涯活躍部の役割は市民の活動を支援し、健康で学び楽しむための環境づくりを進めることにあり、例えば、全市民的なウォーキングイベント等で、多様な主体と共働で、幅広い市民を巻き込み、参加する市民も支える市民も活躍できる機会を創出したいと考えている。関係部署との連携については、保健部や地域振興部などと事業展開を図っていく。

安藤康弘

市民フォーラム



- 自然災害に備えた防災・減災力の強化

質問 被害予測を踏まえた防災・減災体制

本市は被災地として他の自治体等の支援を受けた経験がないが、被災時の支援受入計画策定について問う。

答弁 社会部

被災した自治体の例を見ると、大規模災害時には多くの職員が被災し、防災体制が計画通りに機能しないことも懸念されることから、被災時の円滑な支援受入は極めて重要であり、来年度、豊田市災害時受援計画の策定を予定している。計画の策定にあたり、支援物資の受入・搬送、被災建築物の応急危険度判定、被災者宅への訪問・健康相談など、受援対象業務ごとに、手順や役割分担等を具体的に定めていく予定である。

山田主成

自民クラブ



- 児童虐待対策への取組
○生活排水処理対策の取組
●生涯学習センター交流館の施設整備

質問 今後の交流館整備の方針

機能的な活動や利用ができる交流館を前提に長寿命化が必要と考えるが、今後の整備方針を問う。

答弁 社会部

公共建築物の長寿命化と更新は総合的に判断することとなるが、人口増減等、地域の環境変化に伴う施設需要を踏まえ不足する機能や面積を整備することが必要と認識している。今後の交流館は地域特性に応じた役割・機能が期待され、全市一律の基準での対応が困難となることが予想され、多様なニーズに柔軟に応えるため地域と地域、行政と民間といった枠を超えて機能の統合等を図ることも必要となる。今後、これらの視点や施設需要を踏まえた整備を図っていく。

榎屋小百合

公明党



- 児童虐待を防ぐ取組
○認知症対策

質問 児童虐待を防ぐ為の本市の取組

しつけと虐待の違い等を分かりやすく記載してあるチラシ等を今後、児童虐待防止の啓発手段として活用する考えを問う。

答弁 子ども部

児童虐待防止の啓発については園児や小中学生の家庭にチラシを配布するなど、保護者に児童虐待の防止と予防について理解を深めてもらうよう啓発を行うほか、企業と連携し児童虐待防止イベントを行う等、啓発に努めている。しつけと虐待の違い、虐待が子どもに与える影響などの情報を掲載したチラシも、保護者に配布していく。児童虐待防止についての関心を深めてもらうため、ホームページ等も活用するほか、様々な機会を通して啓発に取り組む。(写真有)

○榎屋小百合議員関連



児童虐待防止啓発チラシ

○都築繁雄議員関連



愛知環状鉄道

○浅井保孝議員関連



豊田市産食材を活用した地産地食の給食

杉本寛文

自民クラブ



- 安全・安心かつ効率的なごみ収集業務の推進
○市民の防火意識の高揚
●高齢者の介護施設を取り巻く状況

質問 福祉施設における新たな取組

高齢者に限定しない福祉サービスの展開という視点で、福祉施設の多様な利用について今後の展開を問う。

答弁 市民福祉部

現行の対象者別の縦割りサービス再編について検討し、第一歩として高齢者施設を利用した障がい者サービスの利用に取り組んだ。高齢者と障がい者が同じ施設で一体的サービスを受けられることで、障がい者の選択幅も広がり、施設や人材を有効活用できると考える。障がい者が介護者の補助員になる場合も想定しており、障がい者の自立に繋がったり、高齢者も違う世代とふれあう機会ができることから、平成29年度からこうした制度を運用していきたい。

都築繁雄

自民クラブ



- これからの豊田市の観光戦略
○医療提供体制の充実
●鉄道の利便性向上及び活性化策

質問 愛知環状鉄道整備促進

愛知環状鉄道の利便性向上等、要望活動を実施する愛知環状鉄道沿線市議員連盟に対して期待することを問う。

答弁 市長

耐震・老朽化対策も必要であるが、利用促進に向け、例えば、共通ICカード導入など利便性向上の攻めの取組も必要だと考える。また、沿線の宅地開発も進んでおり、商業や観光の連携でまちづくりへの可能性も大きい。共通ICカードの整備はラグビーワールドカップ開催前が適切であり、地域の機運醸成、民間支援確保、補助制度に基づく国の予算確保、沿線自治体間の連携に関する支援を期待している。(写真有)

北川敏崇

自民クラブ



- 文化行政の推進

質問 歴史継承拠点新博物館の整備

歴史と自然を一体的に取り上げる博物館が必要と感じているが、新博物館の目指す姿について所見を問う。

答弁 教育行政部

新博物館の目指す姿は歴史と自然を一体に扱う総合博物館として、郷土愛や想像力を育む場となることで、具体的な役割は3点ある。1点目は、歴史資料を収集・保管し後世へ継承すると共に、調査・研究や展示で本市の歴史的な価値と魅力を発信すること。2点目は、「郷土学習スクールサポート」等の学習支援を充実させると共に市民と来訪者の交流を促進すること。3点目は多様な歴史と文化を紹介する窓口となり、市内各地に足を運び、理解を深めてもらうことである。

窪谷文克

自民クラブ



- スポーツによる都市戦略
○雇用促進住宅の今後

質問 ゴルフツーリズムの取組

地域活性化のための大切な資源であり、優位性も持つゴルフツーリズムの推進の今後の取組について問う。

答弁 教育行政部

ゴルフ場は地域活性化のための大切な資源と認識している。毎年開催している女子プロゴルフ大会には、3日間で約2万人入場者があり、また、韓国から4泊5日の旅行パックで市内のホテルに宿泊し、3日間観光、残りの日を市内のゴルフ場でプレーするツアーもあると聞いている。ゴルフツーリズムもスポーツツーリズムの一環と捉え、スポーツの振興や地域活性化に繋がると考え、ツーリズムとよたとも連携し、地域活性化や交流人口拡大に取り組む。

梅村憲夫

自民クラブ



- 医療的ケアが必要な障がい者の支援
○第8総での都市マスの土地利用とインフラ整備

質問 地域生活支援の充実

障がい者の居住の場の確保及び医療ケアが可能なグループホームへの運営支援にどのように取り組むかを問う。

答弁 市民福祉部

障がい者の居住の場について、サテライト型住居の調査・研究を進めている。居住期間に期限があり、自立して生活できる人でない利用困難なため、実効性のある内容に見直したい。人材確保としては、新たな人材確保や潜在的人材の発掘に取り組み、海外人材の確保も障がい者施設で可能か考える。医療的ケアが必要な障がい者に対応する人材は、専門性が求められるため、人材の育成も重要であり、研修を充実し、事業所が人材配置できるよう支援策を考えていく。

浅井保孝

自民クラブ



- 地産地食と給食
○青少年センターを拠点とした、青少年事業の推進

質問 地産地食と楽しい給食

食事は健康な生活を送る上の基本であり、地産地食、楽しい給食という視点で、学校給食への取組を問う。

答弁 学校教育部

学校給食は、成長期にある子どもたちの心身の健全な発達のため栄養バランスのとれた食事を提供し、健康増進を図り、食に関する指導を効果的に進める教材と考える。旬の豊田市産食材を使用して地産地食について学んだり、七草や節分などの行事食で文化や伝統に関心を深められるような献立作成をしている。給食の準備から後片付けまでの活動を通して良好な人間関係や望ましい食習慣を身につけながら楽しい給食になるよう取り組んでいる。(写真有)

市政を問う!

○一般質問の大きなテーマ(大項目)
●以下の質問に関連している項目

質問 一般質問の小さいテーマ(中項目)
答弁 回答した部局名
実際に質問した内容(小項目) 質問に対する市の担当部局の回答

吉野 英国

市民フォーラム



●女性が活躍できる豊田市を目指して

質問 豊田市における女性活躍推進

市民への意識調査から結婚や子育てで離職を考える女性のうち、再就労を希望する方が約半数いると分かったが、市の施策について問う。

答弁 産業部

就労支援室では、離職女性を含む就職希望者に向けて就活セミナーやキャリアカウンセリングを実施しているが、平成29年度は新たに女性向けの「再就労支援プログラム」を実施する。就活セミナーと職業訓練、職場体験を一体的に実施するもので、離職による不安を払拭し、新しい職場へのチャレンジを後押しするものである。職業訓練としては、パソコン教室等も実施するが、将来的には人手不足の業種に関する職業訓練も考えていきたい。

板垣 清志

自民クラブ



- 魅力ある都心づくりの展望
- 道路施設の老朽化対策
- 土砂災害防止法に関する市の支援策

質問 土砂災害特別警戒区域内での補助金の見直し

一年前に提言し、取組を進めるとの答弁であった既存住宅支援制度の創設について、その後の取組状況を問う。

答弁 建設部

制度創設に向けて広島市等への調査、愛知県へ制度化要望を行うとともに庁内委員会で審議、関係部署との調整、補助金交付要望の策定と準備を進めてきた結果、平成29年度より「豊田市住宅・建築物土砂災害対策改修補助金制度」を運用開始することとした。本制度は、既存建築物を改修し安全性を確保することを目的とし、補助対象工事費は330万円が上限で、補助率は工事費の23%でそのうち国が半分の11.5%を負担、残りの11.5%を県と市で2分の1ずつ負担する。

塩谷 雅樹

市民フォーラム



●子どもたちの健やかな育成に向けた取組

質問 子どもの心の育成に向けた取組

現在の道徳授業の内容と課題及び今後、道徳授業の教科化導入に向けた取組によりどの様に変わるのかを問う。

答弁 学校教育部

現在の道徳授業は、文部科学省の資料等を用いて善悪の判断、生命の尊さ等の授業を行っている。規範意識などの低下から目標である道徳的な判断力等を育てることが難しくなっていることが課題である。道徳の教科化で変わることは問題解決的な学習を取り入れることや子どもの成長を認めて評価を行うことなどである。平成29年度からは年間指導計画や学習のねらいを作成して示すとともに、研修を行い教員の力量向上を図り、さらに授業や評価について研究を進める。

大村 義則

諸派



- 市職員の長時間労働の改善を
- 教職員の長時間労働の改善を

質問 部活動指導の在り方

部活動の休養日の設定及び朝練を原則実施しないよう努める必要があるとした県プロジェクトチームの提言に対し見解を問う。

答弁 学校教育部

部活動の休養日の設定について教職員の健康障害を防止する観点からも、休養日の設定は必要と考える。現在、国や県の動向を注視しながら休養日の設定について検討している。また、朝練については医学的な見解、教育的な効果、教員の長時間労働など様々な視点から、今後の朝練のあり方を見極めていきたいと考えている。

根本 美春

諸派



- 救急医療の充実の願いにこたえる支援を
- 高齢者が利用するバスの拡充と交通事故対策を

質問 通院・買い物ができる公共交通の拡充

南部地域への病院進出を機に通院・買い物ができるよう上郷地域バスの路線・ダイヤ拡充が必要と考えるが市の見解を問う。

答弁 都市整備部

上郷地域バスは、現在、利用状況、収支状況ともに極めて低調な路線であり、現状の予算を限度として運行を維持している状況にある。そのような状況の中、当該病院が上郷地区外の離れた位置に建設予定であり、負担に見合った効果が見込めないなどの理由により、バス路線の新設及び路線・ダイヤの拡充は考えていない。

★代表・一般質問の様子を視聴できます★

「市議会だより」のバックナンバーや会議録もご覧いただけます。

豊田市議会ホームページで

インターネット録画放送
豊田市議会 検索 http://toyota-shigikai.jp
「動画で見る!代表・一般質問」をクリック!

ケーブルテレビで
ひまわりネットワーク 生中継&録画放送
チャンネル/121ch(ひまわりチャンネル)

FMラジオで
FMとよた(ラジオ・ラフィート)生中継
チャンネル/78.6MHz

本会議の様子を広く市民のみなさまにお伝えできるよう、一般質問の様子をスマートフォン等から閲覧できるようになりました。

<http://toyota-shigikai.jp/movie.html>

※スマートフォン、タブレット等携帯端末でのリモート視聴では、多くのパケット通信が必要になりますのでパケット使用量にご注意ください。
※携帯端末での視聴はWi-Fi環境をおすすめいたします。

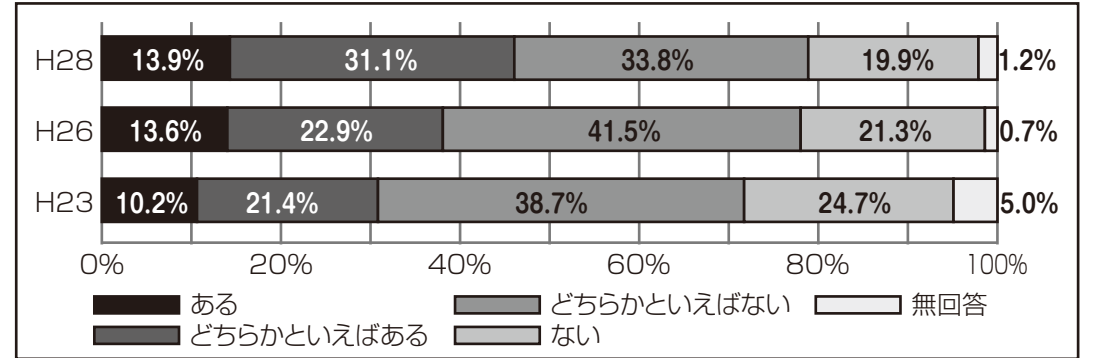


第3回 市議会市民意識調査へのご協力ありがとうございました。

市議会では10月に、市議会に関する市民意識調査を実施いたしました。一部調査結果を報告します。(詳細は議会ホームページ、または市役所南庁舎1階情報コーナーにある報告書をご覧ください。)

調査の概要 / (調査票配付数:5,084票 抽出方法:無作為抽出 回収数:2,890票(回収率:56.8%))

(1) 市議会への関心度

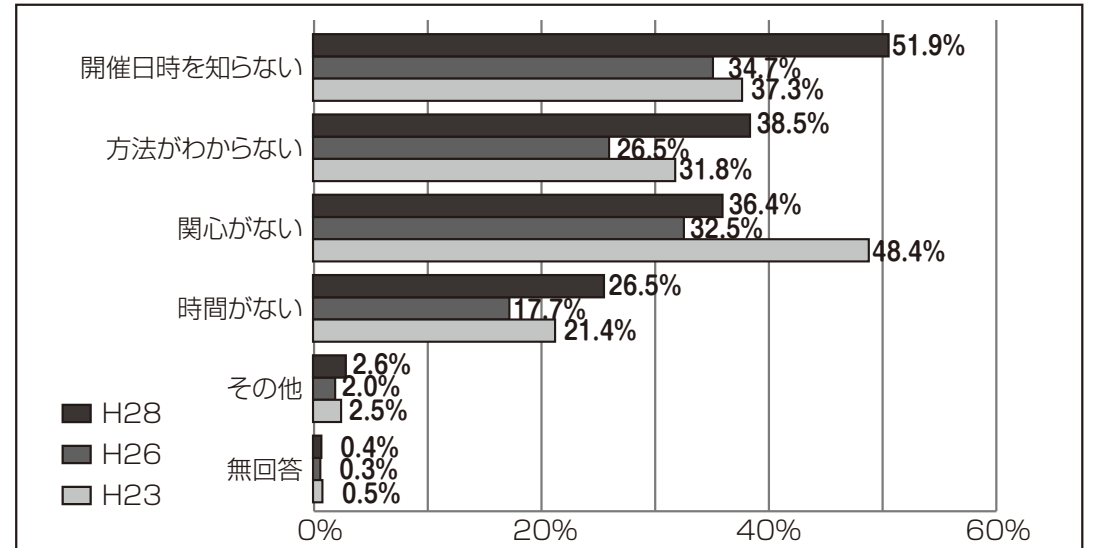


「関心がある」と「どちらかといえばある」で45%となり、平成26年調査と比較して8.5ポイント市議会への関心が高くなりました。

議会・議員への期待

前回同様、議会・議員への期待として最も高かった項目は「市及び市民の利益となるような政策の提言を行う」で48.6%、次いで「市民の意見・要望を聴く機会を設ける」が41.6%でした。

(2) 市議会定例会を見聞したことの無い理由



市議会への関心が高くなった一方で、市議会定例会を見聞したことの無い理由として、「開催日時を知らない」と「方法がわからない」という回答が多くなりました。このことを受け、議会だよりの裏表紙のトピックスに次回の議会予定を大きく掲載することとしました。会期日程につきましては、開会日の一週間前に予定される、議会運営委員会にて決定されますので、詳細は市議会ホームページをご覧ください。

視聴方法について、代表質問・一般質問はケーブルテレビ(ひまわりネットワーク)でご覧いただけることに加えて、市議会ホームページでも過去の様子をご覧いただけます。また、直接議会傍聴を希望する場合は、本会議では南庁舎8階、委員会では南庁舎7階の傍聴者受付にお越しください。

市議会市民意識調査の詳細については、こちらからご覧ください。

<http://toyota-shigikai.jp/activation4.html>

